

■ 20180307_第3回常任委員会(PTA運営についてのワークショップ)

学校名	課題・現状認識	解決策・工夫している点	PTAを楽しむためのポイント
由木東小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 11人の副会長が1人1委員会を担当しているが、1人で担当するのは責任や負担が重い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 役員会後に座談会という形で、オフレコのゆるい感じで情報交換する場を作る ■ 放課後子ども教室はシルバー団体が運営 	<ul style="list-style-type: none"> ■ おやじの会の力を借りてイベント実施
第十小	<ul style="list-style-type: none"> ■ PTAが何をやっているのかわからないことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4月の保護者会や本部役員候補説明会を開催する際に、1年間の活動内容とメッセージを盛り込んだプロモーションビデオを上映して、気持ちをアゲてもらう ■ 作業の見える化をして興味を持ってもらう (PTAの手引き配布・Facebookでの情報発信・引き継ぎ資料の改善など) ■ PTA主催イベントで子ども達だけではなく、保護者の興味を引くようにしている(科学実験教室・JAXA宇宙教室・学校に泊まる避難所体験など) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 横のつながりを形成している ■ 省力化すること ■ 思いついたことは「とりあえずやってみること」が大切 例えば、定期総会を書面のみで開催することで、集まる必要もなくなり、逆に、書面総会に合わせて議決権行使書を回収することで、PTAへの参加意識も高まった
元八王子小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会長業務が多く、全て兼任しており、なり手がいない ■ お祭りや行事のサポートが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 役員にメリットを感じてもらいたい ■ 必要のない業務を削ってスリム化 ■ 会議の回数を減らして、内容を濃く、満足度を高める 	
浅川小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域とのつきあいが濃厚すぎる ■ 隣に浅川中があり、中Pの活動に出たりもして、ネガティブな思いはどうしても生まれてしまう ■ 書記・会計は単年度の方が多くて、継続性という面で不安がある ■ やらないことの取捨が難しく、お祭りに単P会長も参加させられている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東浅川小と協働している。 	
清水小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 担い手の不足 ■ 負担のスリム化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学年によって担当する役割が明確化されている ■ 保護者ボランティアを募集している 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ボランティア例としては以下の通り 図書、地域フィールドワーク用付き添い、ミシン、給食白衣直し、1年生の着替え補助 ■ 学校でボランティアを募集する(コーディネーターに依頼) →コーディネーターは元P会長(ネットワークがある)

学校名	課題・現状認識	解決策・工夫している点	PTAを楽しむためのポイント
陶鎔小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 比較的上手くいっている ■ 保護者の方はすくまじめ→周りから見るとそれがハードルを高くしている？ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ イベント委員会という保護者が参加しやすい委員会を立ち上げ、代わりに広報などの作業規模を縮小した ■ ラフな立場で参加して欲しいので、褒める言葉をかけるようにしている→愛着を強く持たせると手伝ってくれるようになるのではないか ■ 月に一度でいいから参加してくれ、という声かけは参加に対するハードルを下げるのではないか ■ 土曜のイベントの教職員の参加率が高い→出勤扱いにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町会の基盤が強いが、世代交代でおやじの会が強くなりつつある
松木小 (未加盟)	<ul style="list-style-type: none"> ■ PTAの負担軽減 ■ 本部役員は立候補のみの3名(書記会計兼任)で、やりた い人で運営を回しているがギリギリ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本部が抱える仕事を減らして、各委員が自由にやらしてもらうようにした ■ メール、Webで情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今年の運営についてアンケート実施中
第三小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夜の会議に出席できる女性が少ない (本部役員14名) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夜は男性、昼は女性というように分業にした 	
城山小	<ul style="list-style-type: none"> ① 役員の選出方法 ② 人員の確保 ③ 子ども会もなくなってきた (本部役員7名) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 夜の会議に出られる人を渉外担当として、内務作業については軽減させている ② 自薦のみとしている(他薦なし) ③ 各委員会でクリーン活動参加者などを対象に人員を確保してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本部会などで集まる際にスイーツ等を持参して、集まること自体を楽しむようにしている ■ お祭りをPTAとしてお手伝いしている
第九小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本部役員7名 	<ul style="list-style-type: none"> ■ イベントを増やす取り組みをしている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小P連ソフトボール大会への参加を機に、おやじの会を発足させようとしている
第七小	<ul style="list-style-type: none"> ① 役員が少なく負担が大きい(本部役員8名) ② 配布物が多い ③ 次期役員(特に会長)の選出 ④ 各行事の人員確保 ⑤ イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ① 夜の会議は男性、昼は女性と分担している →週1回木曜日に集まるようにしている→頻度を減らす予定 ② LINEなどのSNSで対応できないか？ ③ サッカースクールのコーチなどの地域団体やおやじの会のつながりの中で会長候補を選出している。(個人事業主など) ④ 各学年や団体に割り振りをしている 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ ハロウィンパーティーなどをPTA主催行事として実施している
長沼小	<ul style="list-style-type: none"> ① 仕事の分担が大変で特に男性が必要 ② 役員の選出方法 ③ サタデースクールの人員を集めるのが大変 	<ul style="list-style-type: none"> ① 小P連や青少対に出席する担当を分業している ② 候補者として、クラス内で必ず3名に印をつけてもらい、印の多い人から電話で案内する ③ 第1土曜日にサタデースクール運営委員会を開催している 	

学校名	課題・現状認識	解決策・工夫している点	PTAを楽しむためのポイント
散田小	<p>【PTA活動として必要なこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ワクワク感を持つこと ■人の役に立つことの喜びを知ること <p>↓</p> <p>【保護者として得られること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自分が参画することでコミュニティーが広がっていく ■信頼や信用を手に入れることができる ■最高の友達を作ることができる 		<ul style="list-style-type: none"> ■木工イベントが人気 ■保護者向けのイベントとしてソフトバレーを実施 ■イケメンのF3のレーサーを招待するなどの目玉企画が必要 ■何でも面白がるのが大事 ■オリンピック・パラリンピックの選手を招待する ■おやじの会の設立
宇津木台小			
第六小			
横山第一小			
式分方小			
松枝小			
山田小	<ul style="list-style-type: none"> ■本部役員の担い手がいない 		
上壱分方小	<ul style="list-style-type: none"> ■本部役員の担い手がいない (本部役員7名であり、推薦委員に一任しているが苦勞している) 	<ul style="list-style-type: none"> ■教職員との距離感が近く、運営しやすい面はある ■広報紙としての作成はしておらず、本部の書記が年1回カラー版を作成 ■本部役員説明会を開催していく。 ■PTAとしての活動をアピールしていく。 ■面識の有無を問わず、誰にでもあいさつする 	
片倉台小	<ul style="list-style-type: none"> ■本部は任期2年で運営したい ■規約が古い ■外国の方への対応が難しい 		
第二小	<ul style="list-style-type: none"> ■古い規約を変えて人数を減らしたい 		

学校名	課題・現状認識	解決策・工夫している点	PTAを楽しむためのポイント
上川口小	■男性の会長は夜も日中もなかなか参加することができない		
元八王子東小	①PTA会費の徴収	①保護者会の時に手渡しor口座引き落とし ■本部説明会を実施して、本部活動の説明をする ⇒勧誘はしないけど、どんな活動をしているのか興味を持つ人はいて、そこから決まる年もあるので、実施する価値はある	
第四小	■学校としては児童数が増えていて、学童との兼ね合いもあるが、教室が少ない ■来年度から、学運協・校長・PTA会長がメール配信できるようにする		
船田小	①夜の会議に出席できない人や負担が多い ■例年女性が会長を担っている	①先にまずは「夜の副会長」を決める	
東浅川小	■本部役員の担い手がない	■再来期は候補要員を増やす予定	
加住小	■小中一貫校であり、PTAも合併することになったが、会長はそれぞれにいる。 ■小中でうまく連携しつつ、スリム化を図りたい	■ベルマークなどは小中で一緒に実施している ■会費も一律で2400円/年/家庭に変更した	
元木小	■環境づくりに力を入れたい ■会長以外の本部役員はだいたい決まるが、会長となると地域のコミュニティとの関わりが多く、かなりの負担感がある。 ■地域のつながりが深いことによる、メリデメがある。	■放課後子ども教室は学運協が運営主体	
由井第一小	■本部役員の担い手がない	■本部が各クラスの連絡網を持っているが、連絡網の枠外にPTAの連絡用としても使用する旨の記載を入れた	
中野北小	■本部役員の担い手がない ■母親ばかり ■負担が大きい ■PTAに入らない家庭	■平等に仕事を振れるようにしたい ■PTA室では笑い声が溢れている ■教職員と本部との連携は取れている ■運動会にPTAとしてもお手伝いしている ■小P連をうまく使いたい	

学校名	課題・現状認識	解決策・工夫している点	PTAを楽しむためのポイント
高倉小	<ul style="list-style-type: none"> ①本部役員の担い手がいらない ■ 青少対の活動の負担が大きい ■ 他校との共同での音楽祭もあるが、単Pの負担が大きい ■ 男性役員は6名いるが、会長1人で動くことが大変 	<ul style="list-style-type: none"> ①お茶会を数多く実施している ①各学年の保護者会に参加して話しくまっていて、本部の活動を多くの方に知ってもらうことができた ①朝送迎やイベントによく参加しているお父さんに直接声を掛ける ■ PTA会員全員が何らかの活動ができるように関係を築いていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運営委員会でのスライドショー上映など、聞くだけではない場にした ■ 学校とのやりとりの改善、連絡ツールを考えたい→LINEやTimeTreeなど
長房小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 父親の役員が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全員が本部役員を変わるというやり方に変えたら、協力的になった ■ 全員で対応しているため、役員1人1人の負担が少ない ■ やらせている感が出ないようにお互いに協力している 	
恩方第二小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童数・家庭数が極端に少ないため、6年間で本部役員を何回か担う必要があり、負担が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者は非常に熱心に取り組んでくれている ■ 本部行事のみ実施している ■ PTA会長が地元の方なので、地域の方と一体となった運営ができた ■ 学運協が発足したことでPTAにとっては助かった ■ 役員12名いたので会長1 副会長1 会計1に減らし、その代わりにボランティアを募集するようにした 	
由木西小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学運協・青少対・小P連・単Pという複数の団体での運営は厳しい ■ 青少対の活動を改善して欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学運協の定例会の時間を早めてもらった ■ 委員決めは学年の枠を取り払い、全員から選出した 	
檜原小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会長の担い手を育てていく必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本部役員決めについて、選考委員会を廃止したことにより、敷居が下がり、決まりやすくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校に行くことで、自分の子どもや他の子どもとの関係性も見ることができる ■ 面白い経験をしてもらう ■ 口コミで広めていってもらう ■ システム化(学校との連絡ツールなど)
横山第二小	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本部役員の担い手がいらない ■ PTAは任意制ということから加入しない家庭もいる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 役員会は土日開催する ■ メール・LINEを活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ おやじの会によるおやじ祭り(花火やダンボールハウスでのお泊り会など) ■ できることをやる

学校名	課題・現状認識	解決策・工夫している点	PTAを楽しむためのポイント
第一小			<ul style="list-style-type: none"> ■おやじの会で学校の補修(図書館の本棚・バスケットボールなど) ■みずき通りフェスティバルで露店(子ども達も別に出店)を出店して、その収入で学校の花壇などの整備をしている ■おやじの会の申込書をご主人に内緒で奥さんに提出させる
第八小	<ul style="list-style-type: none"> ■新しいことを実施するのは難しい ■会長の担い手がいない(本部役員はよくやっている) ■青少対のパトロールなどの是非(PTAに行事を丸投げしている部分も多くあり改善すべき) 		
恩方第一小	<ul style="list-style-type: none"> ■各地域団体の祭りなどの行事へのお手伝いが忙しい ■交通安全ボランティアが年々少なくなっている 		<ul style="list-style-type: none"> ■ホテルも時期になると見れるし自然がたくさんある ■人とのつながりをつくる
美山小	<ul style="list-style-type: none"> ■児童数64人・家庭数47と小規模校なので、できることが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域行事と一緒に参加すること 	<ul style="list-style-type: none"> ■ホテルを見る会などの自然に溢れた地域であるため、それに関連した内容をアピールしていきたい
川口小	<ul style="list-style-type: none"> ■本部役員の担い手がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ■青少対行事や運動会の後片付けで働いてくれる人に声をかける ■口コミでボランティア精神のある人を見つける ■親子交流会は人が集まる 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■紙のお知らせでPTAの楽しさを伝えようとするが、なかなか伝わらない 	<ul style="list-style-type: none"> ■本部役員説明会を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ■かぶりものをして子ども達を楽しませる ■本部が楽しんでいるところを他の保護者に見せる ■PTA本部だと卒業式を最前列で見られる ■先生とも一緒になって楽しむことも大事 ■地域の人と関わる機会を作る ■交通安全などの地域ボランティアを増やす ■週末や夜の集まりなどを増やして、役員や委員が交流する機会を作る ■卒業式・入学式のあいさつについて、雛型を作り読むだけにする、楽になるのでは？ ■つまらなそうな顔をしないで、その場は楽しむこと ■「大変でしょう？」と言われても「大したことないよ」と言う